

百尺竿頭進一歩
ひやくしゃくかんとう
いつぽをすすむ
禅語の一つです。高い竿（さお）の先から一歩を踏み出す、という意味です。そこ（竿頭）まで修業して安心してしまうのではなく、勇気をふるってもう一歩踏み出そう、と言うのです。命がけて修業することの大切さを説いています。

高校（B）

草書

百尺竿頭進一歩
ひやくしゃくかんとう
いつぽをすすむ
禅語の一つです。高い竿（さお）の先から一歩を踏み出す、という意味です。そこ（竿頭）まで修業して安心してしまうのではなく、勇気をふるってもう一歩踏み出そう、と言うのです。命がけて修業することの大切さを説いています。

百尺竿頭進一歩
ひやくしゃくかんとう
いつぽをすすむ
禅語の一つです。高い竿（さお）の先から一歩を踏み出す、という意味です。そこ（竿頭）まで修業して安心してしまうのではなく、勇気をふるってもう一歩踏み出そう、と言うのです。命がけて修業することの大切さを説いています。

高校（B）

草書

百尺竿頭進一歩
ひやくしゃくかんとう
いつぽをすすむ
禅語の一つです。高い竿（さお）の先から一歩を踏み出す、という意味です。そこ（竿頭）まで修業して安心してしまうのではなく、勇気をふるってもう一歩踏み出そう、と言うのです。命がけて修業することの大切さを説いています。